

生物多様性を守る市民運動

しのだやま
信太山丘陵に里山自然公園を

里山のみどりを守り
みどりと親しみ
多くの生物と共生を！

NPO法人 信太の森 F A N クラブ

花田茂義



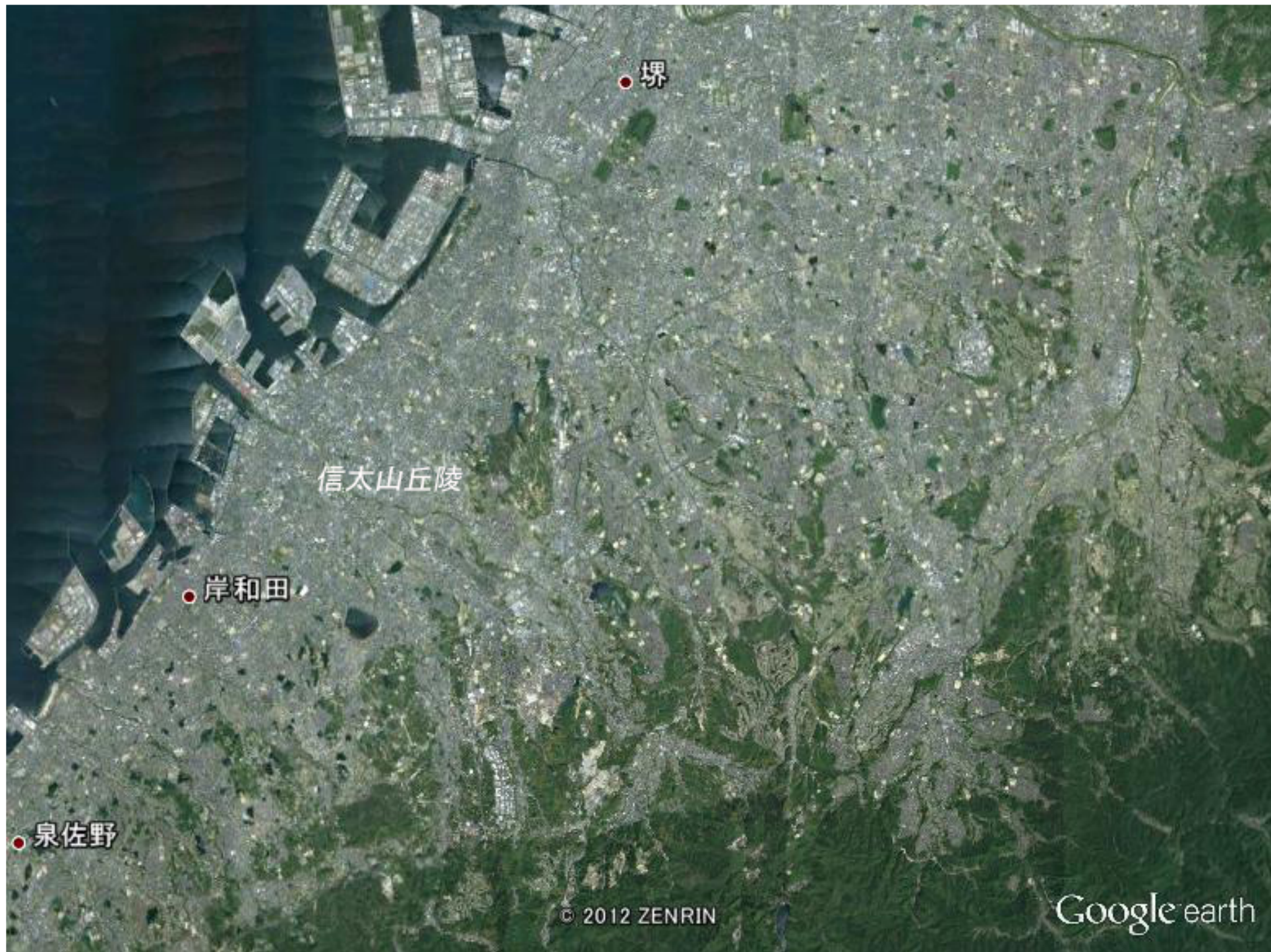
信太山丘陵



谷筋の水田



溜め池



● 堺

信太山丘陵

● 岸和田

● 泉佐野

© 2012 ZENRIN

Google earth

信太山丘陵

和泉市の北部に位置し

広さ約300ha(ヘクタール)

海 抜 40m~80m

洪積台地、大阪層群・信太山礫層
なだらかな丘陵(台地)・入り込んだ谷

古くから人びとのくらしの跡

弥生時代住居跡、須恵器窯跡

黄金塚古墳、信太千塚

熊野参詣道、歌枕「信太の森」、「葛の葉伝説」

明治以降の動き

江戸時代

聖神社の社有地(近郷の入会地として利用)260ha



1872年(明治4年) 国へ上地



1873年(明治5年) 陸軍演習場の開設

1919年(大正8年) 野砲兵第4連隊駐屯



1945年(昭和20年) 武装解除



進駐軍駐屯

1957年(昭和32年) 陸上自衛隊駐屯部隊開庁

現在、約226ha

昭和10年頃 「ふるさとの想いで写真集」(国書刊行会1981)



演習場風景
2010年

信太山丘陵の自然環境

* 自衛隊演習場→乱開発の歯止め

* 里山としての環境・・民有地の点在・耕作地

* 大阪では珍しい湿地群や草原の点在

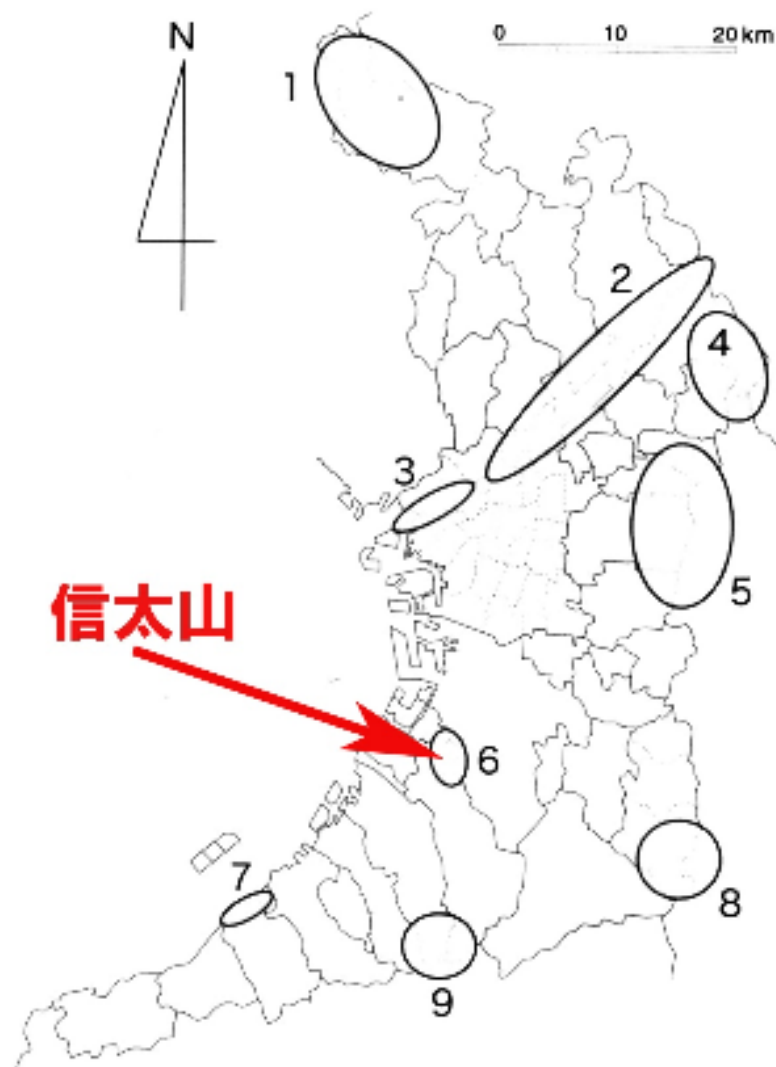


* 50種を超える絶滅危惧種(植物)



大阪のホット・スポット

大阪府の植物保護上重要な地域と絶滅危植物の種類



	場所	大阪RDB
1	能勢町北部	92
2	淀川河川敷	42
3	淀川汽水域	19
4	京阪奈丘陵	47
5	生駒山頂～室池	72
6	信太山丘陵	58
7	男里川河口干潟	18
8	金剛山	99
9	和泉葛城山	59

藤井伸二(人間環境大学)「KONC」32巻1号より

和泉市が防衛省と交換した市有地



和泉市有地取得の経緯

* 防衛庁(1997年～)

演習場内の民有地解消事業を計画

介在民有地(耕作地)・・・13.5ha (319筆 地権者92名)

和泉市・・

土地開発公社

民有地買い取り 9.2ha(63名)



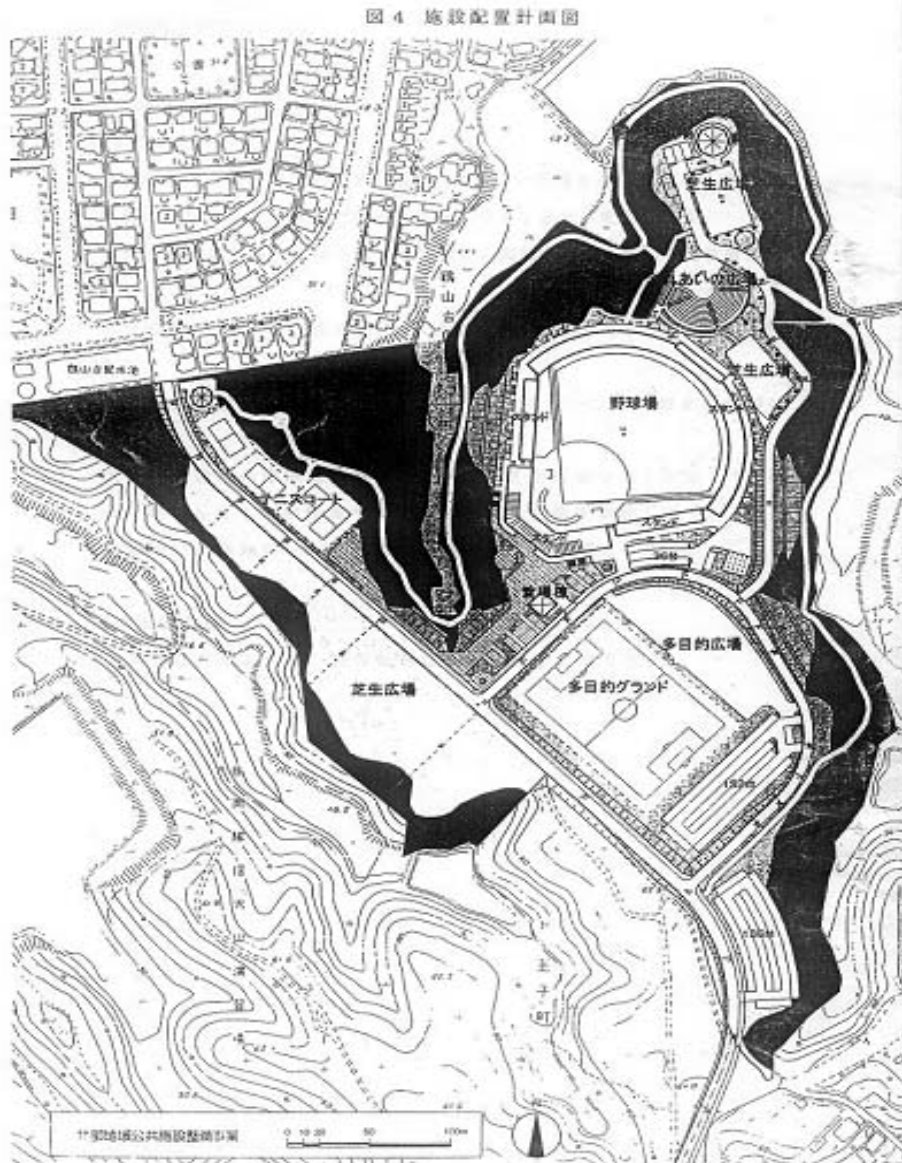
2004(平成16年)

防衛(庁)省と等価交換

交換面積 約10.9ha→実測15.8ha

16haの市有地(開発公社所有)

Sゾーンプロジェクト



主な施設

野球場・・1面

サッカー場(多目)1面

テニスコート・・・・4面

駐車場・ 324台

緑地・芝生広場

総工事費 約44億円

北部地域公共施設整備検討業
務委託 報告書 より
(平成18年3月)

和泉市の思惑

和泉市北部のまちづくり計画の用地確保

演習場周辺的生活道路の整備

補助メニュー

(民生安定施設の助成)

1, 用地費……………1／2

2, 施設整備費…2／3

当該地には信太山を代表する湧水湿地が点在



トキソウ(絶滅危惧Ⅱ類・環境省)



サギソウ(絶滅危惧Ⅱ類・環境省)



★ウスバカマキリ♀(信)

草原

かつて荒地とされた
草地在

ウスバカマキリ(絶滅危惧 I 類)

信太山丘陵の中でも最も注
目される湿地や草地を含み
植物・昆虫・野鳥など多様性
に富むところ(30種を超える
RDB種)



和泉市有地(信太山丘陵)調査結果(2009・10)

和泉市・環境保全課(2012)

分類	総数	府 *	国 *	代表的なもの
植物	487 種	16 種	5 種	トキソウ サギソウ
昆虫	431 種	3 種	なし	クルマバッタ
両生類・ は虫類・哺乳類	16 種	2 種	1 種	カスミサンショウウオ
鳥類	56 種	14 種	4種	ミサゴ オオタカ

府・「大阪府における保護上重要な野生生物」(2000年)に掲載種
国・「ほ乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び II のレッドリストの見直しについて」(環境省 2007年)に掲載種

北部公共施設整備事業 (Sゾーンプロジェクト)



事業化5年間凍結（2006年）

（財政難＝財政再建計画）に伴い

- * 開発計画を知った市民……計画変更の声
- * 大きな動きとならず凍結と共に下火になる

信太の森FANクラブの結成

* 2008年11月 15名で発足

* 会の目的

「信太の森・信太山の自然・文化・歴史をこよなく愛し、その活用と保全を図るさまざまな活動を自主的にすすめ、会員相互の親睦と研鑽を図る」

* 会の活動内容

- 1, 定例観察・調査(毎月第4日曜日)
- 2, 学習会(隔月)、写真展、絵画展
- 3, 見学者案内、出前授業・案内(小学校・高校)
- 4, 保全作業、サギソウの無菌培養



伯太高校 環境学習 12/6



フラスコで
無菌培養 2年



保全作業 12/9



3年目開花 サギソウ

2009年～2010年のとり組み①

9・ 5月 市長選挙3人の候補者に 公開質問状

2名は積極的に開発を推進、辻候補のみ「里山として、人間の適切な管理のもと保全することが大事」「大規模な人工施設はそぐわない」……辻宏康新市長に当選

9・ 7月 要望書提出(4, 526筆、61団体)

- ①「大阪府環境保全地域」に申請して下さい
- ②生態系を保全しながら里山自然公園として活用して下さい
- ③スポーツ施設は他の場所での実現に努めてください

9・10月 関西自然保護機構シンポジウム 「信太山丘陵の保全と活用」 地元小学校

10・ 5月 「里山自然公園構想」提言

市民の考える里山自然公園構想

千葉県

飯沼信太山里山自然公園基本構想

これは、第一案案として利根市へ提案しているものです

現在の里山を基に、20年～30年以前の灌地や草場の再生目標に提案を行っています。

この里山は、かつては自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。

30年～60年ほど前、大規模な灌漑が行われ、里山は灌地や草場へと変化した。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。

絶対種したい植物

林檎の花
山吹草
カキツバタ
アサギソウ
アサギソウ
アサギソウ
アサギソウ
アサギソウ

野鳥の森
里山公園
灌地区域
水田
雑木林
水田公園
雑木林公園

大野池
大野池

大野池の水田公園の管理
野鳥の森の管理

里山公園の自然環境については、里山公園の復元のため、里山公園に提案しています。里山公園の自然環境の復元のため、里山公園に提案しています。里山公園の自然環境の復元のため、里山公園に提案しています。

これは、里山公園を基に、20年～30年以前の灌地や草場の再生目標に提案を行っています。

山吹草
山吹草

里山自然公園こそ 市民が求めるもの

この里山には、自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。

里山自然公園は、自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。

里山自然公園は、自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。

これら、里山公園を基に、20年～30年以前の灌地や草場の再生目標に提案を行っています。市民の力で里山公園を再生させ、自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。

現在、里山公園は自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。自然の恵みを受け、人々の暮らしを支えてきた。

10・9月 和泉市「和泉再生プラン」発表

施設を当初より半減して平成25年から29年にかけて事業化

10・11月 関西自然保護機構 要望書提出

10・12月 「信太山丘陵を考える市民の集い」 地元信太小学校

10・12月 「信太山に里山自然公園を求める連絡会」の結成

参加団体(順不同)

信太の森FANクラブ、泉州の自然と文化財を守る連絡会議、鶴山台句会、ゆうの会、NatureNetwork和泉、和泉メダカネットワーク、鉢ヶ峯の自然を守る会、かたつむりの会、火の鳥高橋鐵次郎、成和製造所、泉北教職員組合、大阪自然環境保全協会、日本野鳥の会大阪支部、和泉・夢と歴史を創る会、NPO法人いずみの国自然館クラブ、 15団体

請願署名運動と採択

11年5月 請願署名(和泉市議会)をよびかける
要望署名(和泉市長)

「生物多様性基本法」の精神、「和泉市環境基本条例」等
にのっとり、信太山丘陵の市有地(16ha)の野生生物の生
態系を保全し、里山的自然環境の保全を図ること」

8月 請願署名10,368筆
要望署名 10,763筆

和泉市議会請願を採択

9月16日 都市環境委員会(3:4で否決)

9月30日 本会議 (12:10で採択)

2012年の動き

和泉市・市有地の保全と活用を発表
12/6月・市議会総務安全委員会で報告

- ① 請願が採択された
 - ② 実態調査で絶滅危惧種など多数確認した
- * 土地開発公社の解散・解散処理も関連か？

審議会（信太山丘陵市有地保全活用検討委員会の設置）



学識経験者	3名
市民公募	3名

5回の審議で基本方針（案）
12/9月～13/3月

基本方針(素案)を発表

2012年12月25日・・検討委員会

【理念】

- * 生物多様性に富んだ、市民の財産、地域のシンボルを次世代へ継承していかねばならない
- * 地域に親しまれてきた市街地に囲まれている自然
- * 里山的環境を保持し、憩いの場、体験の場、学習の場として活用していく

パブリックコメント 12/25~1/25



基本方針案を諮問 1/30日(予定)

現段階までの成果と課題

- * 生物多様性を守るという今日的課題に迫る、和泉市の歴史的な判断を評価したい
- * 和泉市内外の人々の結集、各団体の連帯
- * 公民協働の一端として、市民サイド・NPOなどが保全や活用のための力量をどう高めていくか
- * 運動を進めてきた人々の高齢化、若い人にどう引き継いでいくか
- * 大阪府は「生物多様性基本条例」や「地域戦略」を制定し、生物多様性を守る取り組みの先頭に！

ご静聴ありがとうございました。